

第3号様式（第6条関係）

第2次環境基本及び環境保全行動計画の中間見直し（案）に関する意見募集の結果について

平成31年3月25日

環境部環境保全課

- 1 意見募集期間 平成31年2月8日 ～ 平成31年2月28日
- 2 意見提出人数 2名
- 3 意見提出件数 9件
- 4 意見の概要と意見に対する考え方

整理 番号	提出された意見の概要	意見に対する考え方
1-1	スーパーマーケット等で行っている資源ごみの店頭回収がリサイクル率に加味されていないのなら、新たな資源回収の取組みによりリサイクル率が低くなるのは当然。	ここで言うリサイクル率とは、行政が関与するごみ処理量のうち、再資源化が図られる割合で、国が計算方法を定めているもので、資源ごみの店頭回収は、リサイクル率に反映されませんが、市の処理側から見れば、ごみの減量効果（リデュース）として反映されます。
1-2	リサイクルができる分別収集・処理体制を推進するとあるが、市としてさらに分別を増やすことを検討しているなら、更に市民の手間がかかり、これ以上の分別種類の増加には賛同できない。	現在もリサイクル制度に則った分別収集・処理体制を一定構築していますが、リサイクルは社会情勢の変化に影響され、常により適切な手法を検討し続ける必要があります。しかし、分別種類だけがリサイクルの重要要素ではなく、施設での選別・処理方法や収集方法などとも合わせ、総合的な検討を行います。加えて、分別種類の変更は市民生活への影響にも配慮した検討が必要です。現時点で増加を検討しているわけではありません。
1-3	プラスチック類は洗って出すが、節水要請と矛盾する。粘性が高いものなど多くの水を要するものは可燃ごみ処理しても良いと思う。	プラスチック製容器包装の汚れはリサイクルに支障があるため、食器洗いの残り水などを利用した軽い水洗いをお願いしています。粘性が高いものもリサイクルできない紙や布を利用するなどして除去していただきたいと考えています。それでも内容物の除去が困難な場合は燃やすごみで処理していますが、リサイクルを進める考えから、可能な限りプラスチック製容器包装で処理する必要があると考えています。今後、節水と矛盾しない除去方法について、より工夫した啓発も検討したいと考えています。
2	二酸化炭素排出量の推移で民生部門の排出量が増えているとのことだが、単純に電力の使用量が増えたのではなく、1世帯当たりの家族人数の減少や1kWhの電力を発電するときのCO2発生量の変化の影響も含まれていないか。	民生部門の排出量の増大は、東日本大震災の影響による電力排出係数の上昇が主な原因となるもので、平成22年度から平成24年度にかけて、本市の家庭における電力使用量は減少しているものの、排出係数の大幅な上昇により、CO2排出量も大幅に増加する結果となっております。

	特に、H23 に対して H24 が急増しているのが気になる。	しかし、国が定める削減目標値や公表している実績値は、排出係数の増減を踏まえたものとなっており、地方自治体を含む各事業所が国の義務付けにより行っている排出量の報告においても、係数を踏まえた算出となっていることから、国や県、他市町の統計データ等と比較する上でも、係数を考慮した現状の方法で数値の算出を行うことが適当であると考えています。
3-1	公共交通の利用促進や自転車の積極的な利用を促すために、交通拠点である JR 新居浜駅には再開発前のように駐輪料金無料のスペース設置を要望したい。例えば、駅南口側の駐輪場は無料にしてよいのではないか。	<p>新居浜駅周辺の駐輪場につきましては、市により無料の仮設駐輪場を設置しておりました。しかし、一部の利用者や市民等による自転車盗難やいたずら、乱暴な使用による施設の破損、ごみの不法投棄等が多数発生いたしました。</p> <p>また、利用者の多くを占めるのは学生であり、安定的な供用、利便性の確保は当然のこと、長時間の保管に適し、安全性が確保できる自転車等駐輪場の設置が望まれたことにより、現在のように有人管理となっております。</p> <p>なお、使用料はできるだけ安価で維持管理費の範囲内とすることを管理方針としております。</p> <p>上記の経緯より、有人管理とすることが不可欠であり現状において駐輪料金無料のスペースを設置することは難しいものと考えております。</p>
3-2	<p>市内バスの利用者が少ないのは、単純に本数が少ないこともあるが、以下のようなこともあると思われる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内バスのダイヤがほかの交通機関（JR、高速バス、市内バス同士）のダイヤと関連せず利用機会に恵まれない。 ・運行間隔がバラバラ。 ・バスロケシステムがなく、乗ろうとするバスがどれくらい遅れているのかをすぐに確認する手段がない。 ・新居浜市内では空調付きのバス待合室はない。 	<p>今後とも、温室効果ガス削減に向け公共交通の利用促進を図っていきたいと考えております。</p> <p>なお、便利で使いやすい公共交通網の形成を目指すため、公共交通の具体的な取組施策につきましては、「新居浜市地域公共交通網形成計画」に基づき、引き続き検討してまいります。</p>
3-3	直通便がなく複数の市内バスを乗り継いだ場合、現行制度では初乗運賃を複数回徴収されることとなる。乗り継いでも直通便とほぼ同額となるよう、新居浜市内のバスも検討をしてみてもと思う。	同上

3-4	<p>ノーマイカーデーを作るなど自家用車の利用を削減したいのであれば、マイカーに代わる交通手段の整備が必須であり、その一つの策としてデマンドタクシーをはじめとした乗り合いタイプの移動手段の充実（特に通勤時間帯）は必要ではないか。</p>	同上
4	<p>今後、太陽光発電パネルの稼働率が低くなることが懸念される。</p> <p>低炭素化の方策として、出力が不安定な自然エネルギーの導入は限界にきていると考えられ、今後は買い取り制度（FIT）の活用は前面に出さないほうが良いのではと考える。</p>	<p>固定価格買取制度に関しては、2019年11月以降、最初に契約した家庭において固定価格での買い取りが終了するに当たり、今後、発電した電力を売電するだけではなく、自家消費していく流れが強まることが予想されます。新居浜市としては、固定価格買取制度の活用だけではなく、家庭で発電した電力を効率的に使う一つの方法である家庭用蓄電池システムやネット・ゼロ・エネルギー・ハウスの普及を、補助金制度により推進していきたいと考えています。</p>
5	<p>低公害車普及への施策ついてだが、発想を変えて「旧年式車両への増税検討」（ディーゼル車）というのはいかがか。</p> <p>低公害車への置き換えを間接的に促すためにも、車両導入後の減価償却が終了した後の車両に対し増税を検討する余地はあると思われる。</p>	<p>新居浜市は、軽自動車税について、地方税法で規定されている「標準税率」を適用し、経年車重課として、新車登録から13年を経過した車両（電気自動車等は除く）に対して20%の上乗せを行っています。一方で、一定の環境性能を有する低公害車については、新車登録の翌年度1年に限り、75%から25%までの税軽減を行っています。今後についても、軽自動車はディーゼル車の登録がないこともあり、地方税法等の法令や規則に則り税制面や啓発等で低公害車普及を図っていききたいと考えています。</p>
6	<p>にいはま環境プランは、10年計画となっているが、30年、50年、その先を見据えた展望はないのか。</p>	<p>本計画の「見直しに当たって」で、簡単に触れていますが、2013年に「パリ協定」や「持続可能な開発のための2030アジェンダ」の採択など、国際的合意がされました。その中で「今世紀中の地球温暖化防止に向けた目標」や「持続可能な開発目標（SDGs）」の長期的視野にたった目標が掲げられました。新居浜市もこの目標達成のために、環境施策に取り組んでいきたいと考えています。</p>
7	<p>異常気象が常態化しているが、新居浜市の地下水への影響はどうか。それに備えた深層地下水の調査は考えているのか。</p>	<p>地下水位は、降水量の影響を受けますが、現在のところ異常は見られません。深層地下水については、調査の予定はありません。</p>

8	<p>数少ない新居浜市の古木の温存、公園、学校に高木主体の植樹、企業等の協力を得て、市内各所に緑の景観づくりを目指してはどうか。まずは滝の宮公園から始め、市内の公園に広げては。</p>	<p>全市的に古木の温存は重要であると思われます。高木主体の植樹については、それに相応しい場所かどうか、管理上の問題がないか等について十分検討することが必要です。</p> <p>公園に関しては、昨年度に市内企業の役員の方からサクラの苗を寄附いただき、滝の宮公園内にて3年計画でサクラの再生をはかっており、平成29年度にソメイヨシノ20本、平成30年度にヤマザクラ85本を植栽し、来年度も本数・種類等は未定ですが、引き続きサクラを植栽予定です。</p> <p>滝の宮公園他市内の公園においては、樹木が密集している箇所が多いため、高木から低木まで優良なものを残し、不良木を伐採することにより樹木の適正な生育をはかり、かつ適正な管理を行うことで、緑の景観づくりに繋げていきたいと考えています。</p>
9	<p>街路樹は、剪定等の手間がかからない樹種を選定し、景観づくりやCO₂の削減を目指すべきでは。</p>	<p>新しく建設される道路の街路樹については、ご指摘のとおり、大きさ、剪定等、手間のかからない樹種を選定しております。</p>